

第3次環境基本計画重点取組進捗状況

	重点取組	進捗状況(R元年度～5年度)
1 気候変動適応とくしま		
1	★災害に強い特性を有する自然エネルギーを活用し、「自立・分散型エネルギー社会」の構築のため、防災拠点となる施設(病院や学校、庁舎)や避難所施設に太陽光パネル、LED照明、リチウムイオン蓄電池の整備を着実に進めるなど、住民が安心して暮らせる「災害に強いまちづくり」を推進します。	県においては、「自立・分散型エネルギー社会」の構築に向け、県有施設に初期費用の負担なく設備が導入できるPPA(電力販売契約)を活用し、太陽光発電設備と蓄電池のセット導入を率先するとともに、県民の皆様向けに太陽光発電設備や蓄電池、ZEHの導入支援を実施することにより、再エネの最大限導入及び災害対応力の向上につながった。
2	★県内各地でのイベントとタイアップする形で普及啓発を実施し、「走る発電所」である燃料電池自動車(FCV)による外部給電の実演を行うなど、災害に強い水素を積極的に発信します。	指標1-1 イベントにおけるエコカーを活用した給電に関する啓発活動の実施数(累計)
3	★有害物質の漏洩飛散などによる環境影響の把握や対策を迅速かつ的確に進めるため、事業者等の有害物質の保有情報を集積します。	PRTR制度に基づき、事業者が届け出た化学物質の排出量及び移動量について把握するとともに、水質汚濁防止法に基づき、有害物質を使用する事業場等の情報を集積した。
4	★徳島大学をはじめとする高等教育機関や民間事業者など関係機関と連携し、高温や豪雨など気候変動に適応した高品質・安定生産が行われるよう、AIやIoT技術等の先端技術も活用し、新品種・新技術の開発及び普及推進に取り組みます。	温暖化に対応した晩成スタチの品種開発、高温に耐性がある水稲品種の高品質栽培技術の開発、高温環境に適応したワカメ新品種の現場普及に取り組むとともに、気温等をコントロールできる環境制御型ハウスにおけるトマトの収量予測システムの開発に取り組み、安定的な生産と供給体制の確立に寄与した。
5	★県民生活や事業活動における気候変動の影響について理解を深め、日常の行動へつなげられるよう、情報提供や普及啓発を実施します。	指標1-3 気候変動への適応に関する啓発活動の実施数(累計)
6	★地域において、気候変動への適応に関するの情報収集・提供等を行う拠点(地域気候変動適応センター)機能を担う体制の充実に努めます。	指標1-4 「地域気候変動適応センター」の設置
2 エシカルで環境対策		
7	★学校、消費者団体、小売店、フードバンクや子ども食堂の運営者等、多様な主体との連携により、普及啓発を実施します。	指標2-2 食品ロス削減の啓発活動の実施数(累計)
8	★令和元年度に本県で開催する「第3回食品ロス削減全国大会」を契機として、家庭や飲食店等における食品ロス削減の気運を醸成し、県民運動へと展開します。	「食品ロス削減全国大会」の開催を契機に、ICTを活用したフードバンクシステムの構築をはじめ、スーパーマーケット等での食ロス削減キャンペーンの実施、コンビニエンスストアとの連携による「手前取りキャンペーン」等、食ロス削減への啓発を積極的に実施し、県全体の食ロス削減の意識の向上に寄与した。
9	★「とくしま海岸漂着物対策取組方針」に基づき、関係行政機関・市町村・民間団体等と連携して、漂着物等の回収・適正処理・処分・資源化を進めるとともに、県民に対して発生抑制に係る情報提供や普及啓発を実施します。	指標2-5 プラスチックごみの資源循環に積極的に取り組む市町村数
10	★多様な主体との連携・交流を推進し、幼児から高齢者までそれぞれのライフステージに応じた家庭、学校、企業及び地域社会など多様な場における環境学習活動を促進します。	指標2-6 「とくしま環境学講座」及び「親子環境学習教室」受講者数(累計)
11	★地域における環境学習等の指導者や環境保全活動の地域リーダー及び環境アドバイザー等の人材育成やネットワーク化を推進します。	指標2-8 環境アドバイザー派遣件数(累計)

	重点取組	進捗状況(R元年度～5年度)
3 地域に根ざす自然・水素エネルギー		
12	★地域コミュニティにおいて、省エネ活動により創出した温室効果ガス削減分に対して価値を付与し、率先して省エネ活動を行う意欲を喚起させるとともに、地域の課題を解決する取組を推進します。	指標3-1 県民の省エネ活動に対するインセンティブの付与(累計)
13	★ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)やネット・ゼロ・エネルギー・ビル(ZEB)、また、家庭部門やオフィス部門におけるエネルギー消費の「見える化」や機器の制御を行うエネルギー管理システムの導入を促進します。さらに、エネルギー利用の平準化による省エネを図るため、効率的なエネルギー利用に資する蓄電池の導入も促進します。	指標3-2 ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)の啓発活動の実施数(累計)
14	★県と共同して気候変動対策に取り組む「とくしまエコパートナー」事業者・団体の任命を推進します。	指標3-3 「とくしまエコパートナー」締結企業・団体数
15	★人や社会、環境に配慮した消費行動を行う「エシカル消費」など、新たな価値観の共有を図り、意識の変革を促進します。	エシカル消費の普及促進に顕著な功績のあった事業者や団体の表彰、SNS等を活用した多様な媒体を通じた県民に届く周知啓発活動を展開し、県民の理解促進を図った。
16	★水素を新たなエネルギーとして活用する水素社会の早期実現のため、水素ステーションの整備促進や燃料電池自動車(FCV)の普及を図るとともに、あらゆる機会を通じて普及啓発を実施します。	指標3-4 「水素社会啓発・体験ゾーン」等での環境学習参加者数達成
17	★事業者の脱炭素型ビジネススタイルへの転換を促進するため、温室効果ガスの排出抑制に積極的に取り組む事業者の削減努力を見える化し、積極的に公表するとともに、特に優れた功績のあった事業者等に対しては、表彰や発表の機会を創出し顕彰に努めます。	指標3-7 「気候変動アワード」の表彰総数(累計)達成
18	★海洋エネルギーや太陽熱など未利用エネルギーの地域での活用に向け、産学民官の連携を強化します。	指標3-8 自然エネルギーによる電力自給率
19	★純国産エネルギーとしての自然エネルギーの導入促進をはじめ、電力系統問題の抜本的な解決、自然エネルギーを活用した農林水産業の振興、地域特性を活かした自然エネルギー関連産業の創出など、我が国のエネルギー政策をリードする地域ならではの知恵と工夫を凝らした施策等について、「自然エネルギー協議会」と連携しながら、国等に対して積極的に提案を行います。	自然エネルギーの普及・拡大を円滑に進めるため、自然エネルギー発電施設整備に係る支援策を広く展開するとともに、エネルギー政策に関し権限を有する国に対し、県単独はもとより、「自然エネルギー協議会」と連携し、地域や事業者の課題等も踏まえた具体的な政策を積極的に提言した。
20	★地域に豊富に存在する自然エネルギー資源を最大限に活用し、「地域の活性化」を図るため、先駆的・モデル的な取組を推進するとともに、自然エネルギーを活用した農林水産業や自然エネルギー関連産業の振興に積極的に取り組みます。	指標3-8 自然エネルギーによる電力自給率
21 【再掲】	★災害に強い特性を有する自然エネルギーを活用し、「自立・分散型エネルギー社会」の構築のため、防災拠点となる施設(病院や学校、庁舎)や避難所施設に太陽光パネル、LED照明、リチウムイオン蓄電池の整備を着実に進めるなど、住民が安心して暮らせる「災害に強いまちづくり」を推進します。【1再掲】	県においては、「自立・分散型エネルギー社会」の構築に向け、県有施設に初期費用の負担なく設備が導入できるPPA(電力販売契約)を活用し、太陽光発電設備と蓄電池のセット導入を率先するとともに、県民の皆様向けに太陽光発電設備や蓄電池、ZEHの導入支援を実施することにより、再エネの最大限導入及び災害対応力の向上につながった。【1再掲】
22	★水素エネルギー供給拠点の拡大を図るため、民間事業者等による水素ステーションの整備を積極的に支援します。	令和3年度に、地産エネルギー「副生水素」を活用した全国初の製造・供給一体型水素ステーションの整備を支援し、中四国初となる燃料電池バスの鳴門線での路線運行開始につながった。
23 【再掲】	★県内各地でのイベントとタイアップする形で普及啓発を実施し、「走る発電所」である燃料電池自動車(FCV)による外部給電の実演を行うなど、災害に強い水素を積極的に発信します。【2再掲】	指標1-1 イベントにおけるエコカーを活用した給電に関する啓発活動の実施数(累計)【2再掲】
24	★産学官の連携による「水素ビジネス研究会」の開催など、新たな水素関連事業のビジネスモデル構築を図る取組を推進します。	平成30年9月に「とくしま水素ビジネス研究会」を設置し、水素関連事業の裾野拡大や新たなビジネスモデル構築を目指した産学官連携のプラットフォームとして、広く水素エネルギーに関するビジネスセミナーを開催し、水素をはじめ、再エネ利活用の情報共有を図った。

	重点取組	進捗状況(R元年度～5年度)
4 好循環社会とくしま		
25	★本県の公共用水域の良好な水質を保全し、次の世代へと引き継いでいくために、「瀬戸内海の環境の保全に関する徳島県計画」や「徳島県総量削減計画」等に基づき、各種施策を総合的に推進します	指標4-1 水質環境基準の達成率(河川・海域)
26	★「水銀に関する水俣条約」の発効による、水銀排出規制に関して、周知・指導に努め、適切な対応を図ります。	指標4-5 工場・事業場等の水銀排出規制の適合状況
27	★土壌汚染対策法及び生活環境保全条例の適正な施行を図るとともに、汚染が確認された場合は、汚染状況の調査や汚染土壌の改善対策等を指導します。	土壌汚染対策法及び徳島県生活環境保全条例の届出等の機会を利用して、土壌汚染の状況を把握することで汚染の除去等の措置を指導することができた。
28	★PRTR制度の周知・徹底や技術指導等を通じて、事業者による自主的な化学物質の管理の改善を促進します。	指標4-6 ダイオキシン類の環境基準の達成状況
29	★適正処理の意識や処理技術の向上に関する研修等を実施し、優良な産業廃棄物処理事業者の育成を推進します。	指標4-12 産業廃棄物適正処理講習会受講者数
30	★関係機関と連携し、不法投棄や違法な不用品回収など、不適正処理の防止に努めます。	指標4-13 重点監視地区の夜間パトロール実施数
31	★南海トラフ巨大地震等の大規模災害発生に備え、災害廃棄物の発生量、処理可能量を見込み、処理期間を3年間として算定した仮置場必要面積を確保するため、市町村において仮置場候補地の選定を進めます。	12市町村で必要面積を確保しており、県全体では約88%を充足した。
5 癒しの郷とくしま		
32	★自然との共生を県民が身近に感じるため、地域の多様な自然環境を活かしたビオトープ(生き物の棲み家)の保全及び創出を県民協働で推進します。	コウノトリの定着を推進するため、鳴門市においてはエサ場となるビオトープの整備などが実施されており、コウノトリを通じた人と自然との共生が図られているところである。
33	★「生物多様性とくしま戦略2018-2023」に基づき、「生物多様性という地域資源を活かした、コンパクトな循環型社会」を実現するため、県民や関係団体との協働により、徳島ならではの取組を推進します。	指標5-2 生物多様性アドバンスリーダー数(累計)
34	★県民生活に被害を及ぼす恐れのあるアルゼンチンアリなどの特定外来生物については、国に協力して、市町村、地域住民等と連携し、防除に向けた対策を推進します。	県民からの情報提供に応じて特定外来生物の疑いがある生物の種同定を行い、特定外来生物の確認事例を集積するとともに、県内で確認されている特定外来生物の情報をHPで発信している。また、特定外来生物アルゼンチンアリやセアカゴケグモについては、市町村、県立博物館、ネイチャーセンター及び地域住民等と連携・協働して防除対策を実施しているところである。
35	★被害軽減や人と野生鳥獣との共存を目指すため、ニホンジカ、イノシシ、ニホンザルについて、科学的な知見により策定した適正管理計画に基づく取組を推進します。	指標5-3 「徳島県特定鳥獣管理計画(ニホンジカ・イノシシ・ニホンザル)」の策定推進・次期計画の策定
36	★国立公園、国定公園及び県立自然公園において、全国のモデルとなる施設整備を計画的に進めるとともに、管理運営体制を適切に整備します。	指標5-4 自然公園トイレの洋式化実施率(累計)
37	★自然環境や生物多様性に関する情報の収集・整備・提供を図るとくしま生物多様性センターが、県民、関係団体、大学等の研究機関との連携を強化し、生物多様性に関する調査研究や普及啓発を推進します。	とくしま生物多様性センターでは、希少野生生物に関する専門的知見や外来生物対策など大学やネイチャーセンター等の専門家と、随時、連携を図っている。また、NPO法人や生物多様性とくしま会議とともに、「とくしま生物多様性活動推進協議会」の場などを通して、情報共有や意見交換、フォーラムなどを実施し、生物多様性保全の普及に寄与した。
38	★文化財保護法等の各種制度を活用し、歴史的町並みや建造物、史跡名勝天然記念物などの文化財の計画的な保存及び指定登録等を推進します。	歴史的町並みや建造物、史跡名勝天然記念物などの文化財の計画的な保存及び指定登録等を推進している。

	重点取組	進捗状況(R元年度～5年度)
6 みんなでつくる環境首都		
39	<p>★高等教育機関及び徳島県地球温暖化防止活動推進センターにより、国の支援制度等を積極的に活用し、環境研究や環境・エネルギー技術開発に関する研究、あるいは製品開発に関する共同化を推進します。</p>	<p>県内大学・高等専門学校と徳島県地球温暖化防止活動推進センターの連携により、国の補助事業を活用し環境問題の最新の知見や政策について学ぶ講座を開講し、専門的知識や技能を備える地域人材の育成に繋げるとともに、とくしま環境県民会議等の産学民官の連携システムを活用した環境アドバイザー等の専門家派遣などを通じデータ共有やネットワーク形成を促進し、環境研究等の推進に寄与した。</p>